

《担当者名》 歯科衛生士専門学校校長 / 齊藤 正人 歯学部教授 / 安彦 善裕 歯学部教授 / 齋藤 隆史 歯学部教授 / 越野 寿

【概要】

少子高齢社会の到来とともに、国民の医療への要望が多様化し、医療の質的向上が強く求められている。このような流れを背景として、ここ数年間に、歯科衛生士に対する社会の要望にも大きな変化が現われてきた。この教科においては、とくに医療と診療の意味を理解し、さらに歯科臨床について学び、歯科診療の流れを把握する。

【学修目標】

医療と診療の意味を理解すること。そして歯科医療の特異性のなかで患者の心理、患者への対応が如何に大切かを知ることである。また、歯科診療の流れの中で歯科衛生士の役割を確実に把握し、臨床実習に移行する。

歯の変色の原因、ホワイトニングの適応症、ホワイトニングのメカニズム、ホワイトニング材及び処置法について理解する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	歯科診療と歯科診療所 1. 歯科診療とは 2. 歯科診療所 3. 歯科診療所における業務	医療とは、疾患、外傷、異常などに対する治療や予防のために、専門的方法や手段によって対処できる医師や歯科医師によって直接的に行われる行為である。また、すべてにわたって主治医師本人が手を直接下して治療の処置にあたるわけではなく、人を介して間接的に行う場合もある。これを診療の補助といっている。ここでは、歯科医療の内容を理解し、その特異性について学び、説明できる。 「歯科臨床概論」P.1 - P.5 歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士、看護師、准看護師、栄養士、歯科助手、受付等の役割分担業務を理解し、説明できる。 歯科診療所の一般的な構成を理解し説明できる。 歯科診療所の様々な業務について説明できる。 「歯科臨床概論」P.6 - P.18	齊藤 正人
2	歯科診療の流れ 1. ライフステージと歯科診療 2. 歯科診療で行うこと - 主な診療の流れ -	歯科診療の流れと、それぞれの役割、目的を説明できる。受付は患者に好感と安心感を与える。予診表は患者の来院目的、痛みの状況、過去から現在までの健康状態の情報を得ると共に医療事故の防止にも役立つ大切なものである。診査は、患者の口腔内の状態をチェックし、症状の診断と治療方針の決定をするが、補助者はその際、診査に必要な器具類を用意しておかなければならない。診療後は当日の症状と処置内容、および次回に行われる治療の内容を簡単に説明したうえで帰宅後の注意事項をも指示しておくことも必要である。 「歯科臨床概論」P.19 - P.31	齊藤 正人
3	歯科診療の流れの概要 1. 小児歯科 2. 歯科矯正 3. 口腔外科 4. 歯科保存 5. 歯周治療 6. 歯科補綴 7. 障害者歯科・高齢者歯科	歯科診療は、その対象者あるいは治療内容によっていくつかの専門性のある治療内容に分類できる。それぞれの診療の概要を理解し説明できる。 「歯科臨床概論」P.32 - P.94	齊藤 正人
4	歯科心身症（舌痛症等）	歯科心身症とは 口腔に症状を訴えることのある心因性疾患内容：歯科心身症とは何か？どのようなものがあるのかを説明できる。口腔に症状を訴えることのある心因性疾患に	安彦 善裕

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		ついて説明できる。	
5	審美歯科(ホワイトニング)	歯の変色の原因、ホワイトニングの適応症、ホワイトニングのメカニズム、ホワイトニング材及び処置法に関する基本的事項について理解する。	斎藤 隆史
6	口腔の健康と全身の健康のかかわり	全身の健康に果たす咬合咀嚼機能の意義を理解する。 身体運動機能と咬合機能とのかかわりを理解する。 口腔機能の加齢現象について理解する。	越野 寿
7	大規模災害時に果たす歯科医療の役割	大規模災害の歯科医学的特徴を理解する。 被災者に求められる歯科医療を理解する。 大規模災害時の各種支援体制を理解する。	越野 寿
8	臨床見学実習(3グループ)	歯科内科クリニックで実際に行われている診療をグループに分かれ見学する。	齊藤 正人 専任教員

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験 100%

【教科書】

石川達也 他 編 「歯科臨床概論」 医歯薬出版

佐藤 亨 他 著 「新・歯科衛生士教育マニュアル 歯科補綴学」 クインテッセンス出版 2012年

【参考書】

「口腔外科学・歯科麻酔学(新歯科衛生士教本)」 医歯薬出版

「別冊 歯科衛生士 みるみる理解できるスタッフ向け インプラント入門」 クインテッセンス出版

「コーディネーターのためのホワイトニングマニュアル - すべての人に白い歯を - 」 日本歯科審美学会監修、ホワイトニングコーディネーター委員会編、財団法人口腔保健協会

【学修の準備】

講義内容に該当する教科書部分を予習して授業に臨むこと。(60分)

講義後は配布されたプリントやノートをもう一度確認すること。(120分)